



ブルンジ：ジャーナリスト 釈放される



不当な罪状で投獄されていたジャーナリストのフロリアン・イランガビエさんが 8 月、大統領恩赦を受けて釈放されました。

イランガビエさんは長年、隣国のルワンダに住んでいましたが、その背景には、ブルンジ政権への反発、特に 2015 年以降の抑圧的な政権に対する怒りと国の政策への懸念がありました。自国の政治に不信を抱えていたイランガビエさんは、2022 年にインターネットのラジオ番組でブルンジ政権を強く非難しました。

2022 年 8 月、帰国直後に逮捕されたイランガビエさんは、国家情報局で尋問を受けた後、僻地の刑務所に拘置されました。喘息を患っているイランガビエさんは、劣悪で過酷な環境下で苦しんだと言います。2023 年 10 月、アムネスティなどによる当局への訴えが功を奏し、イランガビエさんはブルンジ最大の都市ブジュンブラに近い刑務所に移されました。

一方、2023 年 1 月の不公正な裁判では、禁錮 10 年という不当な有罪判決を言い渡されました。当局は重い処罰を下した理由として、イランガビエさんがルワンダに出国した非政権派の政治家や若者らとの接触を挙げました。

アムネスティをはじめとする国際的な団体は、裁判所の不当な判決を強く批判し、イランガビエさんの無罪釈放を求めて精力的にキャンペーンを展開してきました。そんな中、今年 8 月 16 日、イランガビエさんは大統領の恩赦を受け、自由の身になりました。アムネスティをはじめとする団体や人びとの訴えが、恩赦の判断に影響を与えたと思われます。釈放されたイランガビエさんは、アムネスティの支援に感謝の言葉を送ってきました。

ロシア：スコチレンコさんら 16 人が恩赦で釈放



8 月 1 日、ロシアとベラルーシが、ドイツ、ノルウェー、ポーランド、スロベニア、米国の 5 カ国と、囚人の交換で合意したことで、モスクワとミンスク（ベラルーシ）当局は 16

人の囚人に恩赦を適用し、釈放しました。

16 人は、当局への批判、反戦活動、ジャーナリストとしての活動に関連する政治的な動機などに基づいて容疑がかけられ、不当な裁判で有罪判決を受けて投獄されていました。

恩赦を受けた人たちは自由の身になり、それぞれの故郷や母国に向かいました。その一人が、ロシアで人気のアーティストで 2022 年のライティングマラソンの対象者だったアレクサンドラ・スコチレンコさんでした。

スコチレンコさんは、2022 年 4 月にスーパーで反戦メッセージを商品の値札にすり替えて逮捕されました。その後、「ロシア軍に関わる誤った情報を広めた」として起訴され、禁錮 7 年を言い渡され、収監されました。

この投獄に怒り抱いた世界中の人びと、特にアムネスティの支援者がスコチレンコさんに強い連帯を示しました。スコチレンコさんが、政治家ら要職の人物らとともに交換対象の囚人リストに入ったのは、世界中のアムネスティの支援者らがスコチレンコさんに寄せた連帯と支援が功を奏したと言えます。

釈放されたスコチレンコさんはアムネスティの支援者に「私が自由になったのは皆さんのおかげです。本当にありがとうございます！」と感謝の言葉を送ってきました。問題視されたスコチレンコさんの行動は、戦争反対の姿勢を示し、ロシア国内の人権問題を世界に広めるために、大きな役割を果たしました。

ナイジェリア: 活動家の反逆罪が棄却され渡航解禁



© Amnesty International - Omoyele Sowore

首都アブジャの連邦高等裁判所は 2 月 19 日、反逆罪に問われていたオンラインニュース発行人で活動家のソウォレさんに無罪を言い渡しました。平和的な革命を呼びかける一連の発言で罪に問

われていました。また、アムネスティや人権活動家、市民社会の訴えを受け、司法大臣は控訴しない意向を裁判所に伝えました。

オンラインニュース「サハラ・レポーターズ」の発行人で活動家のソウォレさんは、この無罪判決で 4 年半ぶりに米国にいる家族と再会できるようになりました。この判決を受けるまでは、保釈条件として渡航が制限されていたからです。

ソウォレさんは 2019 年 8 月 3 日、#RevolutionNow という抗議活動の準備をしていました。政府の汚職、経済的不平等、失業率の上昇などに不満を訴え、政治改革を求めるこの活動で国家保安局に拘束され、政府の転覆を企んだとして、ソウォレさんは告発されました。30 日後、ソウォレさんは詐欺、サイバーストーキング、反逆の容疑で起訴されました。アムネスティは、自身の見解を平和的に表現しただけで拘束されたソウォレさんを「良心の囚人」と呼びました。

その後、ソウォレさんは保釈されましたが、その条件の一つが渡航禁止でした。今回の高等裁判所の判断で渡航禁止が解かれたのは朗報ですが、ソウォレさんは依然として名誉毀損やサイバーストーキングの容疑で起訴され、裁判を受けています。すべての罪状が取り下げられるよう、引き続きみなさんのご支援をお願いします。

ミャンマー: ロヒンギャ活動家がニューヨークの大学へ



バングラデシュのロヒンギャ難民、マウン・ソウイェッドラーさんは、2023 年のライティングマラソンの対象者の一人でした。

バングラデシュ政府の政策によ

り、ロヒンギャ難民は高等教育を受けることが極めて難しく、大学での修学を切望していたマウン・ソウイェッドラーさんにとっても、国内の大学の門戸は閉ざされていました。

そうした状況下で、マウン・ソウイェッドラーさんは世界中の大学に 147 件もの願書を送った結果、その熱意が届いたのか、ニューヨーク大学から入学許可を得ることができました。その後、アムネスティは、学生ビザの申請や米国への入国手続きなどで彼を支援しました。

8 月 19 日、マウン・ソウイェッドラーさんは無事、ニューヨークに到着しました。大学では社会科学を専攻し、特に国際関係を学ぶそうです。

マウン・ソウイェッドラーさんは、ロヒンギャの人びとの教育を受ける権利の訴えに加え、ミャンマーでロヒンギャへの迫害に関与したとされるメタ社（フェイスブック運営会社）に実効性ある救済措置を求める活動も続けています。

UA ニュース

発行:アムネスティ・インターナショナル日本

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12-14 晴花ビル 7F

TEL:03-3518-6777 FAX:03-3518-6778

E-mail:uaoffice@amnesty.or.jp

UA 年会費:3000 円

郵便振替:00120-9-133251

加入者名:公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本